

教育概要 教育目標概要

- 1 学校教育目標
『豊かな心を持ち、主体的に行動できる生徒の育成』
めざす生徒像
 - ・けじめをつけて生活できる生徒
 - ・思いやりがあり、自他共に愛せる生徒
 - ・学びを大切にし、意欲的に取り組む生徒
- 2 学校経営方針
 - 学習指導要領の主旨をふまえ、生徒一人ひとりに「生きる力」、「豊かな心」、「確かな学力」を育む。
 - 生徒の生命・人権を尊重し、生徒が安心して生活できる学校、安全な学校づくりを行う。
 - 地域に根付いた学校、地域に開かれた学校をめざし、生徒・保護者・地域からの期待に応える。また、学校の事故、職員の不祥事の未然防止に全力で取り組む。
- 3 指導の重点
 - (1) 学力の定着・学習意欲の向上を図る指導の工夫
 - ① 校内研究のテーマ「確かな学力を育む授業づくり」のもと、生徒一人ひとりが主体的に活動し、確かな学力を育むことができる授業づくりを研究し、誰もがわかり、一人ひとりが自己肯定感をもち進める。
 - ② 生徒一人ひとりが、「基礎・基本の定着」を実感できる指導を推進する。
 - ③ 教員一人ひとりが、授業展開を工夫し、授業力をアップする。そのため、積極的に研究会や研修、講演会に参加し、それを通じ、各々が具体的な目標を持って授業に臨めるような工夫をしていく。
 - ④ 家庭学習の定着のための具体的な取り組みと意欲向上のための取り組みを進める。また、各学年の取り組みを共有することができ、場を設定する。
 - (2) 「生きる力」、「豊かな心」を育成する指導の充実
 - ① 一昨年までの校内研究のテーマであった「いのちを大切に作る心を育む学校づくり」の成果を生かし、学年経営、学級経営の充実を図るとともに、教科、学校行事、道徳教育、総合的な学習の時間等を有機的に結びつけ、「思いやりの心」、「福祉の心」を育む。
 - ② あいさつなどの礼儀、校則の遵守、規則正しい生活など、基本的な生活習慣の指導について、各家庭とも連携しながら推進する。
 - ③ 生徒一人ひとりが、自分を大切にされていると思える学校・学年を実現するため、適応サポート委員会を定期的に開催し、その成果を職員が共有し、早期対応、早期解決をめざす。
 - ④ 一人ひとりの生徒について、関係機関、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）などとも連携しながら、きめ細かい対応をしていく。SCとの連携による研修会の開催、全学年を対象としたワークショップを行う。
 - ⑤ 本年度もPTAと連携して、スマートフォン等SNSに関する講演会を行う。
 - (3) 家庭・地域と学校のベクトルを合わせるための連携の推進と発展
 - ① 保護者会、PTA活動、地区懇談会、学校公開、学校評議員会、初声地区青少年育成団体連絡協議会などを通して、家庭・地域との連携に努める。特に、土曜参観については、より多くの保護者や地域の方が来校されるような工夫をする。
 - ② 昨年同様、地域の行事に部活動などの生徒、職員を積極的に派遣し、地域に貢献していく。また、地域の方を講師として招く等の工夫をし、双方向の交流をめざす。
 - ③ 学校だより、学年だより等で、学校の思い、願いを発信する。学校の授業の取り組み等や保護者、生徒の声もより多く伝えていく。初声小学校と連携し、学校だより等を、初声市民センターの掲示コーナーに掲示して、地域の学校に対する理解を深めていく。